

注意 適合直流電源装置を必ず使用してください。
AC100Vを入力した場合、一瞬で故障します。




お買い上げありがとうございました。ご使用前に必ずお読みください。
この説明書は取付工事が終わりましたら
製品をご使用になるお客様に必ずお渡しく下さい。

23年10月03

営業本部 / 東京都品川区西五反田1-13-5: 03-3492-4460 最新の連絡先はホームページ<http://www.dnlighting.co.jp>をご確認ください。

安全上の注意

警告

 <ul style="list-style-type: none"> 取付工事やLEDモジュール交換、清掃のときは、必ず電源を切ってください。直流電源装置の故障、感電の原因となります。 万一、煙がでたり、変な臭いがあるなどの異常状態が発生した場合はすぐに電源を切ってください。そのまま使用すると、感電、火災の原因となります。また、異常状態がおさまったことを確認してから工事店、電器店に修理を依頼してください。 	 <ul style="list-style-type: none"> LEDモジュールの分解、改造は絶対にしないでください。故障、落下、感電、火災の原因となります。
 <ul style="list-style-type: none"> 取付工事は、取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。感電、火災、ケガの原因となります。 LEDモジュールの取り付けは、LEDモジュールの質量に耐えるところに取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。取り付けに不備があると落下し、感電、ケガの原因となります。 	 <ul style="list-style-type: none"> LEDモジュールの隙間に金属類や燃えやすいものなどを差し込まないでください。感電、火災の原因となります。 紙や布や断熱材などでおおったり、燃えやすいものに近づけないでください。故障、火災の原因となります。 LEDモジュールに内蔵されている電子部品には、絶対に触れないでください。感電の原因となります。 適合直流電源装置(別売)以外は使用しないでください。LEDモジュールの破損、発煙、点灯回路損傷の原因となります。(適合直流電源装置: ELD2-2416P、ELD2-2435FD、ELD2430HDB、ELD2475F、ELD2-24240FD、ELD24320FD、ELD24150FDD)

注意

<ul style="list-style-type: none"> 屋外では使用しないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。 雨や水滴のかかる状態や湿度の高いところで使用しないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。 床、什器等の清掃の際は、LEDモジュールに水や薬品がかからないように注意してください。故障、感電、火災の原因となることがあります。 振動や衝撃のあるところでは使用しないでください。故障、落下によるケガ、火災の原因となることがあります。 引火する危険性の雰囲気(ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカーなど)で使用しないでください。火災、爆発の原因となることがあります。 腐食性雰囲気のあるところでは使用しないでください。故障、落下の原因となることがあります。 粉塵の多いところでは使用しないでください。火災の原因となることがあります。 暖房機器、火気などの上や近接したところでは使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。 LEDモジュールを被照射面に近接した位置に取り付けしないでください。被照射面の変色や変質、火災の原因となることがあります。 LEDモジュール取付時は、マグネット受け金具(別売)やMUホルダーを用いて確実に取り付けてください。LEDモジュール落下によるケガの原因となることがあります。 誤って落下させたLEDモジュールは使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。 MUホルダーを造営材へ取り付ける際は、一直線上に精度良く取り付けてください。MUホルダーとLEDモジュールの嵌合が甘くなり、LEDモジュール落下の原因となることがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 濡れた手でコネクタを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。 過度な荷重をかけないでください。故障、落下の原因となることがあります。 LEDモジュールの温度上昇は収納部の容積やLEDモジュールと周囲の造営材との距離に影響されますので、放熱には十分注意してください。放熱が悪いと、故障、火災の原因となることがあります。 LEDモジュールに塗料などを塗らないでください。故障、破損、感電、火災の原因となることがあります。 点灯中や消灯後しばらくは、LEDモジュールが熱いので絶対に手や肌などを触れないでください。ヤケドの原因となることがあります。 取付穴をあけないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。 磁石を使用してLEDモジュールを天井や高所に取り付けしないでください。故障、落下によるケガの原因となることがあります。 磁石には非常に強い吸引力が働きますので体の一部を挟まれないように注意してください。ケガの原因となることがあります。 可燃性造営材に取り付ける場合にはLEDモジュールとの間隔をとってください。火災の原因となることがあります。 変形したMUホルダーは使用しないでください。LEDモジュール落下によるケガの原因となることがあります。 点灯しているLEDモジュールを長時間直視するのはおやめください。目を痛めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。
---	---

ご使用上の注意

<ul style="list-style-type: none"> 周囲温度は5℃~35℃の範囲で使用してください。LEDモジュールの短寿命、不点灯、チラツキの原因となることがあります。 点灯および消灯直後にLEDモジュールからの熱による金属の膨張収縮で、きしみ音が発生する場合がありますが、安全上に問題ありません。 清掃する際は、シンナーやベンジンなどの溶剤を使用しないでください。水を濡らした柔らかい布でよく絞ってから拭いてください。 近くで赤外線リモコン機器を使用しないでください。リモコン機器が正常に動作しないことがあります。リモコンの受信部には、LEDモジュールの光が入らないよう配慮してください。 LEDモジュールを並列に取り付ける場合は、LEDモジュール1台分の間隔以上離してください。熱干渉により光束が落ちたり、LEDモジュールの短寿命の原因となることがあります。 電源波形に歪みや変動があるときはチラツキを生じる場合があります。 LED素子にはバラツキがあるため、同一形式商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。 ラジオやテレビなどの音響および映像機器の近くで点灯しますと、雑音が入ることがありますのでご注意ください。雑音が入るときはLEDモジュールから1m以上離して使用してください。 	<ul style="list-style-type: none"> 交換の際はLEDモジュールごと交換してください。LED素子単体では交換できませんのでご注意ください。 LED素子は、経時的に光色、明るさのバラツキが発生する場合があります。ご了承ください。 LEDモジュールの自重や磁石の磁力によるソリを防ぐよう、マグネット受け金具(別売)やMUホルダーを配置してください。 999mm以上の長さのLEDモジュールは自重によるソリを防ぐよう、MUホルダーを中央付近にも配置してください。 什器等の絶縁性能試験を実施する際は、LEDモジュールを必ず取り外しておこなってください。LEDモジュールが故障します。 磁石に磁気カードやメモリー等の電子記憶媒体などを近づけないでください。磁気の影響により、記録内容が消去されるおそれがあります。 磁石をパソコンやディスプレイ、時計などの磁気の影響を受けやすい電子機器に近づけないでください。磁気の影響により、故障の原因となることがあります。 調光する際は、指定の調光用直流電源装置と調光器を必ず使用してください。 被照射物の染料や顔料の特性によって、LEDの可視光により退色や変色する場合があります。 通電したままLEDモジュールを脱着しないでください。直流電源装置、LEDモジュール故障の原因となることがあります。
---	---

保守・点検

<ul style="list-style-type: none"> 照明器具および関連部品(直流電源装置、モジュール含む)には寿命があります。 設置して8~10年経つと、外觀に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。 ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C 8105-1解説による) ※LED光源は寿命がきてても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。 	<ul style="list-style-type: none"> 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。 1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。(弊社のホームページまたは製品カタログに掲載) 3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。 点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。
--	--

定格

入力電圧DC24V

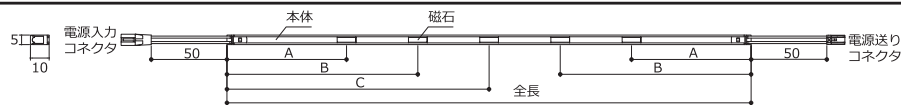
(仕様と定格は予告なく変更することがあります。)

形式*1	全長(mm)	LEDモジュール入力電力(W)	本体質量(kg)
MU-LED75□□-MG	75	0.68	0.02
MU-LED273□□-MG	273	2.6	0.03
MU-LED504□□-MG	504	4.9	0.04
MU-LED834□□-MG	834	8.2	0.06
MU-LED999□□-MG	999	9.9	0.07
MU-LED1131□□-MG	1131	11.2	0.08
MU-LED1230□□-MG	1230	12.2	0.08
MU-LED1494□□-MG	1494	14.8	0.09

適合直流電源装置形式*4	最大使用W数*2
ELD2-2416P*3(非調光)	14Wまで
ELD2-2435FD*3(非調光・PWM調光兼用)	28Wまで
ELD2430HDB(非調光・位相調光兼用)	24Wまで
ELD2475F*3*5(非調光)	52Wまで
ELD2-24240FD*3*5(非調光・PWM調光兼用)	168W(144W)*4まで
ELD24320FD*3*5(非調光・PWM調光兼用)	224W(192W)*4まで
ELD24150FDD(非調光・DALI調光兼用)	105W(90W)*4まで

- *1 形式の□□は色記号(Nは昼白色、Wは白色、WWは温白色、L24、L28、L30は電球色)
- *2 最大使用W数はLEDモジュール入力電力を使用し、組み合わせたときの値です。ただし、直列配線LEDモジュール長合計は、長さ3000mm以下としてください。
- *3 段調光アダプタSDA240との併用で段調光可能。
- *4 直流電源装置は周囲温度5℃~40℃の範囲で使用してください。ただし、直流電源装置を天井裏など40℃近傍で使用する場合は()内の電力W以内で使用してください。
- *5 集中電源システムでの使用可能。

各部の名称と外形寸法



磁石位置・個数（-は磁石無し）

器具全長	42~75	108~240	273~504	537~1461	1494
A寸法	-	30	80	120	120
B寸法	-	-	-	-	570
C寸法	全長/2	-	-	全長/2	-
磁石個数	1個	2個	2個	3個	4個

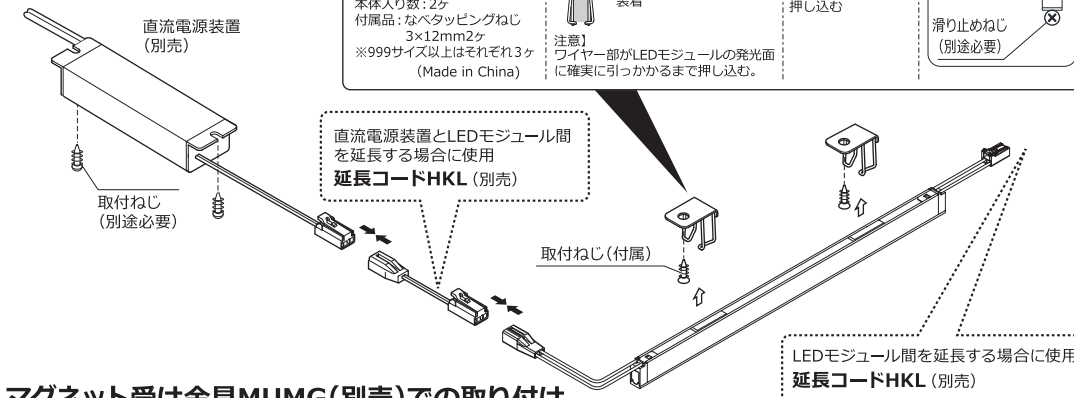
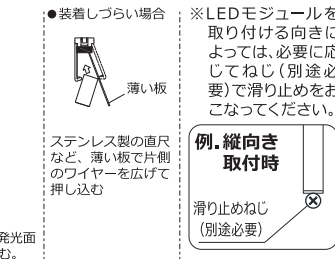
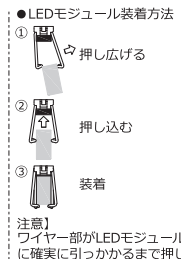
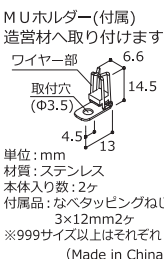
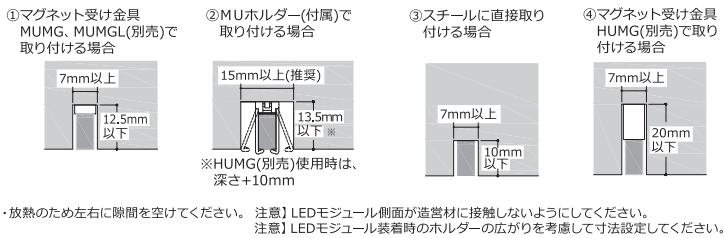
単位:mm
 本体:アルミ(アルマイト仕上げ)
 付属品:MUホルダーおよび取付ねじ(なべタッピングねじ3×12mm)2ヶ(999サイズ以上は3ヶ)

取付方法

1.本体の取り付け MUホルダー(付属)での 取り付け

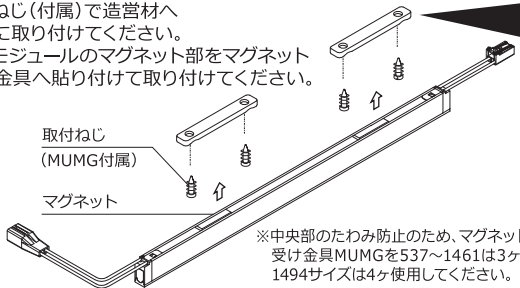
- 位置決めは一直線上に精度良くおこなってください。
 - 取付ねじ(付属)で造営材へ確実に取り付けてください。
 - LEDモジュールを斜めにしてMUホルダー片側のワイヤー部を押し広げながら確実に押し込んでください。
- (右図●LEDモジュール装着方法を参照)
 ※999サイズ以上は中央部のたわみ防止のため、MUホルダーを3ヶ使用してください。

<埋め込み最小施工寸法>

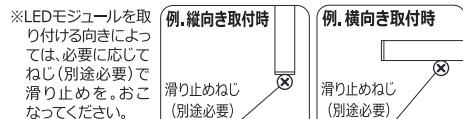
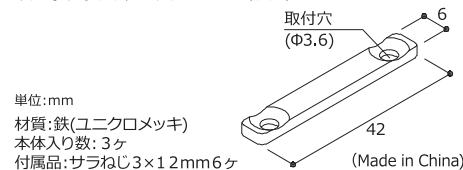


マグネット受け金具MUMG(別売)での取り付け

- 位置決めは一直線上に精度良くおこなってください。
- 取付ねじ(付属)で造営材へ確実に取り付けてください。
- LEDモジュールのマグネット部をマグネット受け金具へ貼り付けて取り付けてください。



マグネット受け金具MUMG(別売)



※下記オプションパーツ(別売)の取り付けについては、各製品の説明書と併せてご覧ください。マグネット受け金具:MUMG、HUMG、MUMGL

2.直流電源装置(別売)の接続

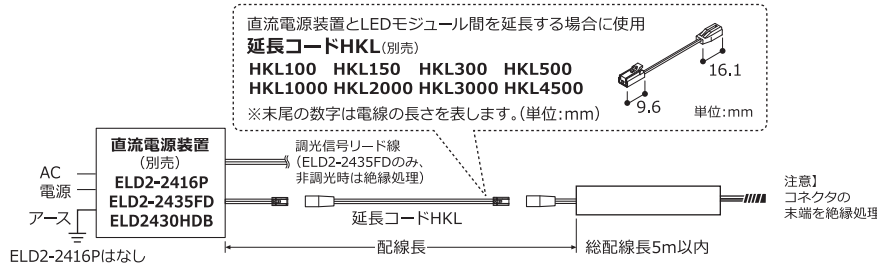
警告 必ず電源を切ってください。(感電の原因)

注意 直流電源装置の最大使用W数以下で使用。(故障の原因)

直流電源装置の取り扱いについては、各製品の取扱説明書をご覧ください。

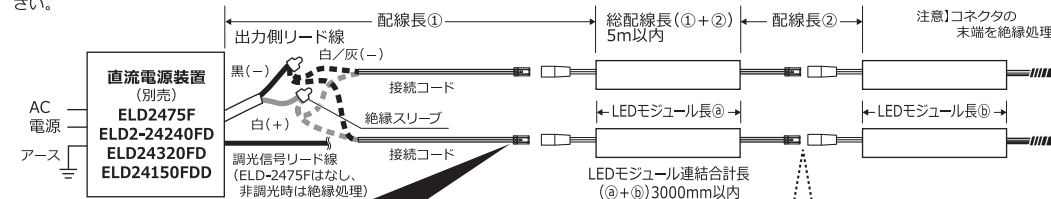
●ELD2-2416P、ELD2-2435FD、ELD2430HDBを使用する場合

- 専用コードHKL(別売)を必ず使用し下図の通り配線してください。
- 調光用直流電源装置と調光器の接続については各調光器の取扱説明書をご覧ください。



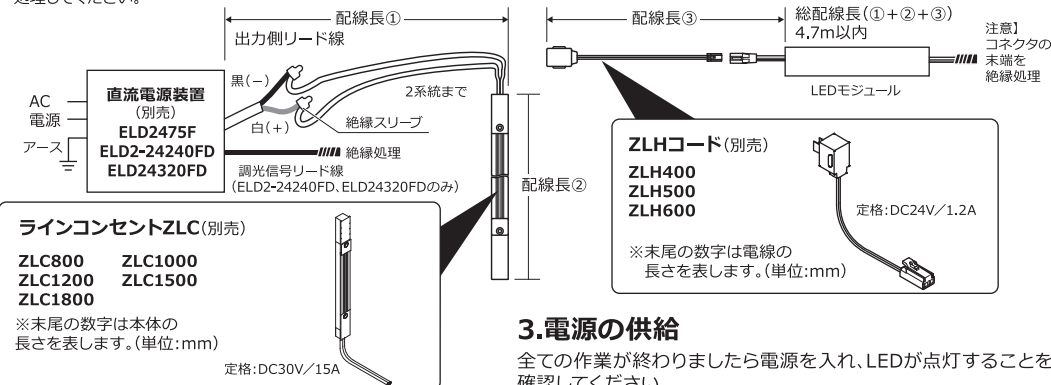
●ELD2475F、ELD2-24240FD、ELD24320FD、ELD24150FDDを使用する場合

- 専用コードHKL(別売)を必ず使用し下図の通り配線してください。
- LEDモジュール(連結合計長が3000mmを越える場合は、直流電源装置出力側リード線の末端で分岐してLEDモジュールを接続してください。
- 調光用直流電源装置と調光器の接続については各調光器の取扱説明書をご覧ください。



●集中電源システムELD2475F、ELD2-24240FD、ELD24320FDを使用する場合

- ラインコンセントZLC(別売)とZLHコード(別売)を使用し、ラインコンセントZLCの電線を直流電源装置の出力側リードへ圧着接続してください。
- ELD2-24240FD、ELD24320FDは調光信号リード線(白、黒/シース色:灰)を絶縁処理してください。



3.電源の供給

全ての作業が終わりましたら電源を入れ、LEDが点灯することを確認してください。